



射水



ご挨拶

射水神社宮司

松本正昭

東日本大地震は、人間の想像を絶する大津波を引き起こし、二万人以上の方々が地震や津波の犠牲になり、三ヶ月過ぎた現在も、被災地では多くの方が避難生活をおくつておられます。

被災地の皆様には、謹んでお見舞い申し上げ、犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

このような未曾有の天災と人災の中で、我々の心を照らす希望の光が報道の中にかいまみられたことであります。

我々現代人は文明に浸りきって何事も便利なものを求め続け、経済を優先し目的至上主義と走り、人々との温もりも希薄になりつつある中に、この震災を機に冷静な行動・助け合いの心、家族の絆、人と人の絆の大切さ、有難さを改めて実感させてくれました。

世界に目を向ければ、このような状況下では暴動、略奪といった無法状態がつきものだそうです。日本人は文化的に個々の欲望・感情を抑制

する力に優れています。これは有史以来、皇室を中心にした先人が培った文化であり、先人が譲り伝えてきた文化であります。

今度の大地震においても、天皇・皇后陛下は避難所生活を余儀なくされている人々を幾度となく見舞われました。お見舞いを受けた被災者は、どんなに癒され、勇気づけられ、何とも言えぬ安心感を与えられたことでしょう。あらためて皇室の有難さを感じた人も多いのではないのでしょうか。

国連の事務総長は「日本人のマナーは世界一」「人類で最高の先進性が日本にある」「日本人に学ぶべきだ」と、震災後の姿勢や対応に賛辞を述べております。

「逆境こそ未来を拓く」と古人は申しております。都市化が進むにつれ、大自然の恐さと自然からの恵みを忘れがちであります。人類が生きていく為の空気であれ、水であれ、奇麗にしてくれるのが大自然です。

この震災を契機に、文明の進歩を拒む訳ではないが、日本の原風景や、

昔ながらの生活に時には立ち返り、もう一度この国の原点である精神に立ち返り、我が国が世界に向けて模範を示し、新たな地平を開いていくことこそ、犠牲に遭われた人たちの無念と悲しみ、被災された人達の苦しみに応える唯一の道であり、復興に繋がる道であろうかと思えます。

日本人は、人の力では計り知れない自然に向き合う時、畏敬の念と感謝の誠で祈りを捧げて参りました。全国津々浦々の神社では、一日も早い復興を願い自然界に鎮まる神々に、祈りを捧げております。

復興までには長い道のりです。いま日本全体に復興に向けて一体感が生まれていますが、時が経てば被災した人と被災しなかった人との間に無意識のうちに溝が生じがちです。その試練も必ず峠を越えるときがくると思います。だからその峠を越えるまでは、被災された方とともに歩み続け、復興への救援支援活動を行って行かねばならないと思います。

平成二十三年年度奉賛会総会

本年度の奉賛会総会を七月二十九日午後一時三十分より、当社の参集殿にて会員六十一名が出席して開催をした。

総会は、「国旗儀礼」に始まり、「平成二十二年度活動報告並びに決算報告」、「平成二十三年度活動計画案並びに予算案」、「奉賛会の名称変更」について事務局より報告、説明があり、審議を頂いた。また、その他として、宮司より参集殿改築等についての説明を行った。

その後、基調講演として、高岡市立博物館主任学芸員の藤井素彦先生より「モニユメントとしての射水神社」と題して講演を賜った。先生の専門分野である美術・工芸・建築と、射水神社を設計した建築家の伊東忠太氏、また高岡という土地を絡めたお話は出席者にとつてとても興味深いものであった。

奉賛会新入会員

北陸防水工業(株)
協和総商
S M B C 日興証券(株)高岡支店
(株) J T B 東海
イオンモール高岡店
(株) J T B 東海
トラベランド高岡駅南店
小間印刷(株)
北陸総合警備保障(株)高岡支社
津田 昌明 中島 貞之
杉山 哲 林 眞宰秀
高橋 尚也
川村 人志 永田 義邦
多田 慎一 笠井 千秋

奉賛会新任顧問

入会の薦め

〇会費 (年額)

個人会費 三千円以上
法人会員 五千円以上

〇待遇

・会員の芳名は簿冊に記録し、本殿内に納め置きます。



藤井先生の基調講演

・毎月の朔日祭(一日)・月次祭(二十三日) 斎行の際、会員各位のภายใน安全・生業繁栄を祈願致します。
・大祭毎に昇殿参拝のご案内を致します。
・個人会員には、六月の夏越大祓・年末の師走大祓等のご案内を致します。
・年末に射水神社御神符並びに、特別干支絵馬をお届け致します。
・社報(年二回)をお届け致します。
・研修会等の参集殿のご利用に便宜をお図り致します。

【申し込み先】

〇事務局 高岡市古城一番一号
射水神社々務所内
電話 〇七六六(二三)三〇四

うつくしの杜 射水神社の集い 神社で落語 開催のお知らせ

とき 十一月六日(日)
午後七時

ところ 射水神社参集殿

木戸銭 一、五〇〇円「入場料」

尚、崇敬奉賛会会員は御招待「本人」致します。

また、会員お連れ様は優待料金(お一人限り)となります。

N H K 連続ドラマ『ちりとてちん』でも広く親しまれることとなった上方落語が射水神社で聴けます。

テレビ時代劇「水戸黄門」に出演、テレビ・舞台にと多才な活動をされる桂春駒をはじめ、いま人気の若手噺家の月亭遊方・桂福矢が参ります。

もともと上方落語は「神社の境内を発祥の地」としています。このたび、多くの方々が親しみを持ち、気軽に「うつくしの杜・射水神社」へと足を運んでいただく機会にと、「神社で落語」を開催致します。

杜の景色

杜の景色（上半期）

1月1日	歳旦祭 初詣
1月14日	左義長 (射水の火祭)
2月節分	節分祭
2月11日	紀元祭
2月17日	祈年祭
4月14日	高岡市護國神社 春祭
4月18日	日吉社春祭
4月23日	例祭
4月29日	昭和祭
4月30日	院内社春祭
5月13日	悪王子社春祭
6月27日	鎮火祭
6月30日	夏越大祓 人形感謝清祓式
7月1日	職場安全祈願祭
7月10日	悪王子社秋祭
7月15日～17日	奉納書道展
7月29日	奉賛会総会

高岡市護國神社 春季大祭

当社の末社高岡市護國神社は、高岡市古城公園内の椿山にご鎮座になられております。去る四月十四日、晴天の下、春季大祭を遺族会会長の高橋高岡市長をはじめ約百五十名参列のもと厳肅に斎行致しました。

豊栄の舞を奉納し、御霊を御慰め申し上げ、そして、参列者一同、三千五百七十六柱の御英霊に哀悼の誠を捧げました。



紅梅満開

高岡開町を奉祝して高岡市白銀后町のみなさまより植樹頂いた紅梅（表紙写真）が本年も見事な花をつけ、我々の目を楽しませてくれました。一昨年、高岡市は開町四百年を迎えましたので、紅梅も四百歳以上ということになります。

幹は空洞となつてゐる箇所もありますが、幹から直接花をつける生命力には圧巻されます。



夏越の大祓・ 人形感謝清祓式

知らず知らずの間に身に付いた罪や穢れを形代（紙の人形）に移し祓う夏越の大祓（茅の輪神事）に引き続き、子供の成長にともない古くなった、雛人形やぬいぐるみに感謝し、祓い清める人形感謝清祓式を六月三十日に約百五十名参列のもと斎行致しました。

持参頂いた人形はすべて回廊に飾り、お祓いをし御霊あげを致しました。



参集殿

リニューアルオープン（九月十日予定）

この秋の結婚式シーズンを前に、参集殿を新装し、みなさまをお迎えすることとなりました。平成十年に改築工事を行って以来の大々的な工事となります。今回の工事では、披露宴会場内の壁紙・じゅうたんの張り替え、不具合箇所の修理等を計画しております。また、現在、少人数での披露宴や



会食のご要望が増えていることを鑑み、いろいろなバリエーションでご利用頂けるように工事を進めて参ります。
次号の社報にて、リニューアルした参集殿を詳しくご紹介させていただきます。

※写真は、披露宴会場完成イメージです。

※なお、工事の進捗状況により、リニューアルオープン時期が変更になる場合もあります。

神前結婚式

御神恩をいただき、
幸おからん事を。

平成二十二年十二月挙式の方々

近藤 太樹・景子

寺林 孝男・真弓

嶋田 昇・哉子

赤井 一雅・弘美

丸山 高豊・伊都子

平成二十三年一月挙式の方々

平野 貴行・夕香里

平成二十三年二月挙式の方々

土合 真人・晶子

大木 信人・早織

野村 卓宏・里恵

平成二十三年三月挙式の方々

野上 真延・美香

佐々木 巖・真代

古野 広之・恵

山口 康之・千智

一 刻大輔・亜李沙

野中 政宏・桜子

柴田 豪・葉子

口ウ・リック・奈保子

鍛冶 宗則・知子

山田 隆博・志穂美
濱田 三寛・結衣

平成二十三年四月挙式の方々

池田 康則・沙緒里

クリスティロバート・愛

堀川 聡・美香子

國谷 匠・愛深

岩瀬 直幸・香織

稲垣 謙二・詩乃

荒木 美智也・和美

北田 勇一郎・美優紀

平成二十三年五月挙式の方々

吉田 馨・真由美

能登 幸太・直美

中川 仁・雅

宮内 渡・亜紀奈

山黒 雄宇・志穂

平成二十三年六月挙式の方々

銭谷 嘉純・真琴

高森 英悦・可織

酒田 実・さとみ

材木 広和・絵里香

越中の食彩

氷見うどん海津屋
代表取締役社長 海津憲太郎

加賀藩から幕府への献上品や京の公家、寺の総本山などへの贈答品として用いられるほど全国に名高い「輪島そうめん」であったが、幕末から衰退の道をたどり、昭和初期にはまったく姿を消してしまっただけである。

氷見うどんのルーツは、今では幻となった「輪島そうめん」でありその技は、江戸時代に氷見に伝わったとされている。氷見ではそうめんよりもうどんが発達し、今では「稲庭」「讃岐」と並んで氷見が三大うどんの一角を占めるとの評価もある。むろん輪島伝来の「手延べ」である。それによって、驚くような粘りとコシの強さが生まれている。

氷見うどんの製造は午前三時から始まる。季節やその日の天候、気温に応じて水や塩加減を微妙に調整している。随所に職人の技を

取り入れ、特にめんの生地を踏む「足踏み」とめんの生地を引き延ばしていく「手延べ」の作業は職人の経験と勘が大事になる。

「コシがあるのと、ただ固いめんは違う」と言うように、海津屋では弾力があって、ソフトな食感が味わえるのも魅力である。食べ方は温かくしても冷たくしてもいいが、いろいろな食材と合わせても美味しい。

細 麵 冷



東日本震災復興支援活動

この度の東日本大震災で被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い被災地の復旧復興をお祈り申し上げます。

県内の若手神職（四十歳以下）の集まり富山県神道青年会に当社の職員も三人入会をしております。



会の方針としては、月に一度は復興支援活動を実施しようという強い決意で、三月から炊き出しや瓦礫の撤去作業を行っております。

神職として「世の為人の為」の精神をしっかりと持ち、一日も早い復興を願い、今後微力ではありますが活動に参加していく所存です。



ご奉納

六月一日 射水神社関係書籍一冊

奉納者 当社出仕 田中天美



人 事

新任

権禰宜 嶽 徹

平成二十三年四月一日

出仕 田中 天美

平成二十三年四月一日

『ふるさと 射水神社』

⑮ 高岡城跡遷座のこと

(その一)

明治元年（一八六八）三月、維新政府は神仏の分離を発令した。金沢藩においては、明治二年七月に二上山養老寺の知識米取立て指止め令が出された。僧徒が神社へ関与することを禁じていたため、山伏の大部分は四散して壮大を誇った別当寺は見る影も無く荒廃、社人側の主張をいれて二上山権現を廃絶し、射水神社と改称した。養老寺社僧の慈尊院と本覚坊は、還俗して社人となったが、金光院は還俗をこぼみ、養老寺の法燈を

継承した。なお慈尊院は後に真言宗に戻っている。

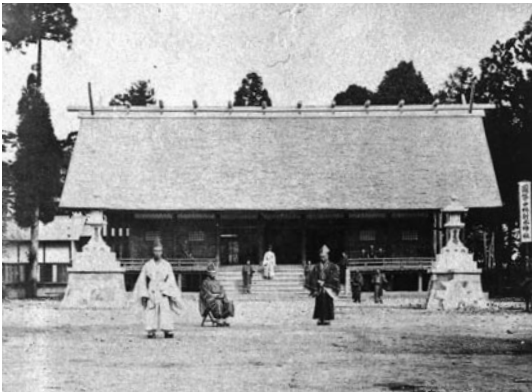
明治四年、射水神社は県内唯一の官社である国幣中社に列せられ、同八年九月、高岡古城の本丸跡に遷座した。

遷座された高岡城跡は慶長十四年（一六〇九）の築城の後、わずか五年あまりで廃城となった。同年三月十八日、

加賀二代藩主前田利長の隠居城である富山城は、大火に見舞われ、町の大半とともに焼失した。利長は魚津城に移ったが、早々に駿府の徳川家康と幕府の秀忠に急使を遣わして築城を願ひ出た。四月六日、家康は利長に親書を寄せ、火事見舞いにあわせ、築城の許可と城地選定をまかせる内意を伝えてきた。利長は風が

強く火事の多い富山で再建せずに、射水郡の関野の地を選び、築城及び城下町建設を開始した。

利長は天正十三年（一五八五）から約十三年間、高岡城より北方約七キロメートルの守山城（二上山西峰）に居城しており、以前よりこの関野に目をつけていたと思われる。



遷座後の国幣中社射水神社（明治8年）

編集後記

六月三十日に、夏越の大祓式を斎行し、今年もはや半年が過ぎたと実感しております。上半期の祭典並びに諸行事も皆様のお陰をもちまして、滞りなく斎行出来ましたことに、心より感謝申し上げます。

九月には、参集殿を十三年ぶりに改築し、リニューアルオープンすることになりました。今後は、結婚式、結納式、同窓会など、いろいろな用途に応じてご利用頂ければと思っております。

なお、前号でご案内を致しました「第三回 観月祭」は、参集殿改築の為、誠に勝手ではございますが延期させて頂くこととなりました。謹んでお詫び申し上げます。

発行 射水神社

発行所 〒九三〇〇四四 高岡市古城一

TEL (〇七六六) 二二一三二〇四

FAX (〇七六六) 二二一三七一五

印刷所 キクラ印刷株式会社



悠久の歴史にいだかれ
とこしえ 永久の愛をお誓いします。



平成23年3月挙式 島田様ご夫妻

身を清め 神前に向かい誓い合う
二人の新たな始まりを

手水の儀

参集殿通信

—うつくしの杜ブライダルフェアのご案内—

Utsukushi no mori Marriage story



平成23年5月挙式 宮内様ご夫妻

～参集殿リニューアル～
夏に会場をリニューアル。

秋から同窓会などのご相談も
承ります。

～射水フェスタ
和モダン～

リニューアル後、初のフェスタ。
一新された参集殿。
是非ご来社下さい。

平成23年9月18日(日)
10:00～18:00

- ・模擬挙式 & 模擬披露宴
- ・ワンプレート試食
- ・料理・引出物展示
- ・和装・洋装衣装展示

その他、随時婚礼相談を承っております。

うつくしの杜、結婚式場

射水神社

〒933-0044 高岡市古城1番1号(高岡古城公園内)

お問合せ (0766) 22-0808

U R L ■ <http://www.imizujinja.or.jp>

Eメール ■ jinja-k@mbs.sphere.ne.jp